【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】平成29年8月10日(2017.8.10)

【公開番号】特開2017-117121(P2017-117121A)
【公開日】平成29年6月29日(2017.6.29)
【年通号数】公開・登録公報2017-024
【出願番号】特願2015-250436(P2015-250436)
【国際特許分類】
Ｇ０６Ｆ　1/32　(2006.01)
Ｇ０４Ｇ　19/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０６Ｆ　1/32　Ｚ
Ｇ０４Ｇ　1/00　３１０Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成29年5月29日(2017.5.29)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
情報処理装置であって、
オペレーティングシステムによる当該情報処理装置の機能を実行する第１の実行処理と、
前記オペレーティングシステムの動作が止まった状態で、特定プログラムによる当該情報処理装置の特定の機能を実行する第２の実行処理と、
当該情報処理装置の電源のＯＦＦからＯＮへの動作を伴うことなく、前記第１の実行処理と前記第２の実行処理を切り替える切替処理と、を実行し、
前記第１の実行処理中は、前記第２の実行処理は行なわれないことを特徴とする情報処理装置。
【請求項２】
前記第２の実行処理は、前記第１の実行処理に比べ、低消費電力で実行可能な処理であることを特徴とする請求項１に記載の情報処理装置。
【請求項３】
前記切替処理は、当該情報処理装置の状態判定を行い、当該状態判定結果に基づいて、前記第１の実行処理と前記第２の実行処理を切り替えることを特徴とする請求項１または２に記載の情報処理装置。
【請求項４】
当該情報処理装置は電池で動作し、
前記状態判定は、当該情報処理装置の前記電池の電池残量判定であり、
前記切替処理は、
電池残量が所定値以上の場合は、前記第１の実行処理により当該情報処理装置の機能を実行し、
電池残量が前記所定値以上でない場合は、前記第２の実行処理により当該情報処理装置の特定の機能を実行することを特徴とする請求項３に記載の情報処理装置。
【請求項５】
前記状態判定は、当該情報処理装置を保持するユーザの動作状態判定であり、

前記切替処理は、ユーザの動作状態判定結果に基づいて、前記第１の実行処理と前記第２の実行処理とを切り替えることを特徴とする請求項３または４に記載の情報処理装置。
【請求項６】
前記切替処理は、
ユーザの動作状態判定によりユーザが静止していると判定された場合は、前記第１の実行処理により当該情報処理装置の機能を実行し、
ユーザが静止していないと判定された場合は、前記第２の実行処理により当該情報処理装置の特定の機能を実行することを特徴とする請求項５に記載の情報処理装置。
【請求項７】
前記切替処理は、
ユーザの動作状態判定によりユーザが当該情報処理装置を見ていると判定された場合は、前記第１の実行処理により当該情報処理装置の機能を実行し、
ユーザが当該情報処理装置を見ていないと判定された場合は、前記第２の実行処理により当該情報処理装置の特定の機能を実行することを特徴とする請求項５または６に記載の情報処理装置。
【請求項８】
当該情報処理は外部機器とデータ通信を行い、
前記第１の実行処理は、前記外部機器から受信したデータをデータ処理することを特徴とする請求項１から７のいずれか１項に記載の情報処理装置。
【請求項９】
前記データ処理は、前記外部機器から受信したデータを当該情報処理装置のユーザに通知することを特徴とする請求項８に記載の情報処理装置。
【請求項１０】
当該情報処理装置は第１の表示部を備え、
前記第１の実行処理は、前記外部機器から受信したデータを前記第１の表示部に表示することによりユーザに通知することを特徴とする請求項９に記載の情報処理装置。
【請求項１１】
前記特定の機能は時計機能であることを特徴とする請求項１から１０のいずれか１項に記載の情報処理装置。
【請求項１２】
当該情報処理装置は第２の表示部を備え、
前記第２の実行処理は、前記第２の表示部を制御して現在時刻を当該第２の表示部で表示することにより、前記時計機能を実行することを特徴とする請求項１１に記載の情報処理装置。
【請求項１３】
当該情報処理装置はＲＴＣ（Ｒｅａｌ　Ｔｉｍｅ　Ｃｌｏｃｋ）を備え、
前記第２の実行処理は所定間隔で前記ＲＴＣより現在時刻を取得し、取得した現在時刻を前記第２の表示部で表示することにより、前記時計機能を実行することを特徴とする請求項１２に記載の情報処理装置。
【請求項１４】
前記第２の表示部はセグメント表示の液晶表示部であることを特徴とする請求項１２または１３に記載の情報処理装置。
【請求項１５】
当該情報処理装置は第１のＣＰＵと第２のＣＰＵとを備え、
前記オペレーティングシステムは前記第１のＣＰＵで動作し、
前記特定プログラムは前記第２のＣＰＵで動作することを特徴とする請求項１から１４のいずれか１項に記載の情報処理装置。
【請求項１６】
前記切替処理は、前記第１のＣＰＵへの電源供給を停止することにより、前記オペレーティングシステムの動作を止めることを特徴とする請求項１５に記載の情報処理装置。

【請求項１７】
前記第２のＣＰＵの消費電力は、前記第１のＣＰＵの消費電力より少ないことを特徴とする請求項１５または１６に記載の情報処理装置。
【請求項１８】
当該情報処理装置はＣＰＵを備え、
前記オペレーティングシステムと前記特定プログラムは前記ＣＰＵで動作し、
前記切替処理は、前記オペレーティングシステムの動作を止め、前記特定プログラムによる当該情報処理装置の特定の機能の実行に切り替える操作をトリガとして起動する割込み処理プログラムが、切り替え時点の前記ＣＰＵのプログラムカウンタの値を、前記特定プログラムの先頭アドレスに書き換えることにより、前記オペレーティングシステムの動作を止め、前記特定プログラムが動作するように制御することを特徴とする請求項１から１４のいずれか１項に記載の情報処理装置。
【請求項１９】
当該情報処理装置は、ウェアラブル型情報処理装置であることを特徴とする請求項１から１８のいずれか１項に記載の情報処理装置。
【請求項２０】
当該情報処理装置は、腕時計型情報処理装置であることを特徴とする請求項１９に記載の情報処理装置。
【請求項２１】
情報処理装置の制御方法であって、
オペレーティングシステムによる当該情報処理装置の機能を実行する第１の実行処理と、
前記オペレーティングシステムの動作が止まった状態で、特定プログラムによる当該情報処理装置の特定の機能を実行する第２の実行処理と、
当該情報処理装置の電源のＯＦＦからＯＮへの動作を伴うことなく、前記第１の実行処理と前記第２の実行処理を切り替える切替処理と、を含み、
前記第１の実行処理中は、前記第２の実行処理は行なわれないことを特徴とする制御方法。
【請求項２２】
情報処理装置を制御するコンピュータに、
オペレーティングシステムによる当該情報処理装置の機能を実行する第１の実行処理と、
前記オペレーティングシステムの動作が止まった状態で、特定プログラムによる当該情報処理装置の特定の機能を実行する第２の実行処理と、
当該情報処理装置の電源のＯＦＦからＯＮへの動作を伴うことなく、前記第１の実行処理と前記第２の実行処理を切り替える切替処理と、を実行させ、
前記第１の実行処理中は、前記第２の実行処理は行なわれないことを特徴とするプログラム。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
上記目的を達成するため、本発明の一態様の情報処理装置は、
情報処理装置であって、
オペレーティングシステムによる当該情報処理装置の機能を実行する第１の実行処理と、
前記オペレーティングシステムの動作が止まった状態で、特定プログラムによる当該情報処理装置の特定の機能を実行する第２の実行処理と、

当該情報処理装置の電源のＯＦＦからＯＮへの動作を伴うことなく、前記第１の実行処理と前記第２の実行処理を切り替える切替処理と、を実行し、
前記第１の実行処理中は、前記第２の実行処理は行なわれないことを特徴とする。